

一刻の猶予も許されない救命活動 – 臓器提供で救える命を増やす検査室効率の最大化

Southwest Transplant Alliance、
ダラス、テキサス州、米国

主なパートナー/関係者

Selena Warden | Doug Butler | Sean Forquer | Reid Freeman | Cristina Solomon

臓器提供や組織提供の必要性は非常に高く、米国だけでも 10 万人以上の男性、女性、子供が臓器移植を必要としており、順番待ちリストには 8 分ごとに 1 人が追加されています。悲劇的なことに、決して実現しない臓器移植を待ちながら、毎日平均 16 人が亡くなっているのです。こうした観点から極めて重要なのは、利用可能な臓器を最大限に活用することの必要性です。

臓器調達機関（OPO）は、米国で活動しているきわめて重要な組織で、死亡したドナーから移植に用いる救命用の臓器を回収する責任を負っています。OPO の重要な役割は、臓器の調達と移植ネットワークのポリシーで義務付けられているように、臓器レシピエントへの伝染病の侵入、伝播、蔓延を防ぐため、感染症スクリーニング検査に基づいて移植可能性を判定することです。スクリーニング要件は、組織の種類に応じて異なります。臓器提供（生前血液サンプル）について、全米臓器配分ネットワーク（UNOS）は、FDA の認可、承認、または許可を受けた検査方法を用いることのみを要件としています。これに対して、組織や眼を提供する場合、FDA は特定ベンダーにて指定の検査を用いるよう義務付けており、繰り返しが必要な一部の検査では最大 12 時間かかることもあります。そこで多くの OPO は、臓器についての検査と、必須とされている眼や組織の検査を組み合わせ実施しています。このプロセスは業務効率としては優れていますが、迅速な移植が必要な場合には役に立ちません。例えば、心臓、肝臓、肺は、提供後わずか数時間以内に移植しなければならないからです。残念ながら、従来の検査方法は最大 12 時間かかる場合があり、移植の機会を逃したり、救命用の臓器が無駄になる可能性があります。

Southwest Transplant Alliance が新しく確立した臨床ケア経路は、臓器ドナーについての検査と、組織や眼についての検査を分離することで、臓器のマッチングと斡旋を促進し、最終的により多くの命を救おうというものです。迅速化すべきケースとは、ドナー側のケースにおいて、移植する臓器の生存率を維持するためドナーを即座に手術室に運ばなければならないような状況を指します。これらのケースが当てはまるのは、ドナーが脳死と判定されたり、循環機能や呼吸機能が不可逆的に停止した場合です。

異なる検査頻度と検査法を導入しつつ、これに迅速な移植手順についての組織教育も組み合わせるという方針により、Southwest Transplant Alliance はリソースの利用率を向上させながら、コストの削減も図ってきました。



UNIVANTS[™]
OF HEALTHCARE EXCELLENCE